

Webアクセス・全証跡ログ追跡取得システム

SPRINGER V 3.0 / 3.5

特許出願中 特願2007-012417

株式会社グローバルテクノ

〒160-0015

東京都新宿区大京町25番地 新宿菅井ビル7F

URL: <http://www.global-techno.co.jp>

Tel: (03)3353-8659

FAX: (03)3353-8699

拡大するセキュリティ・マーケット

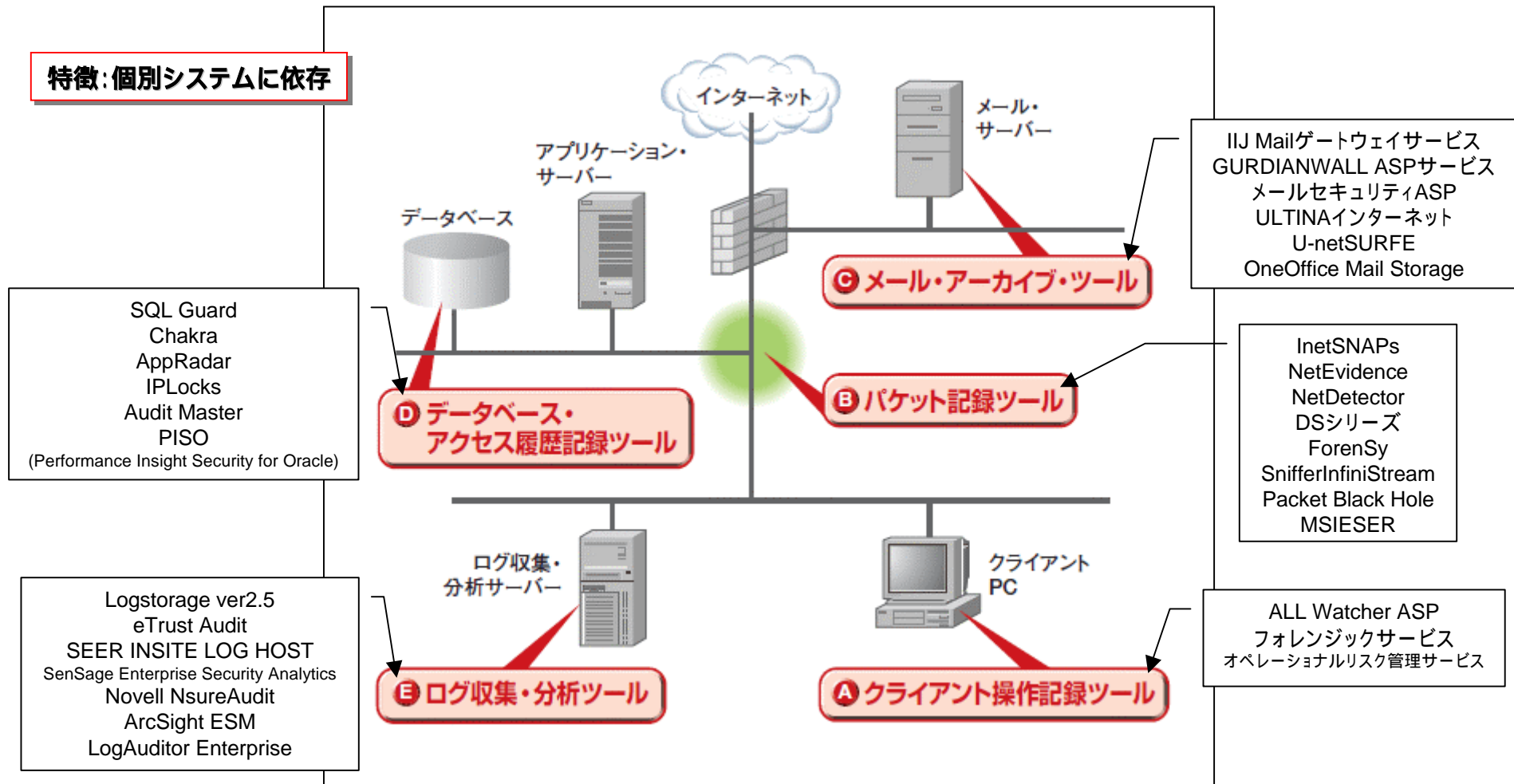
GLOBALTECHNO

総合リスク管理の要請、
制度における内部統制（金融商品取引法等へのコンプライアンス対応）
危機管理対応、
個人情報保護法
JSOX 対応

オンライン取引・セキュリティ関連の販売市場ターゲット

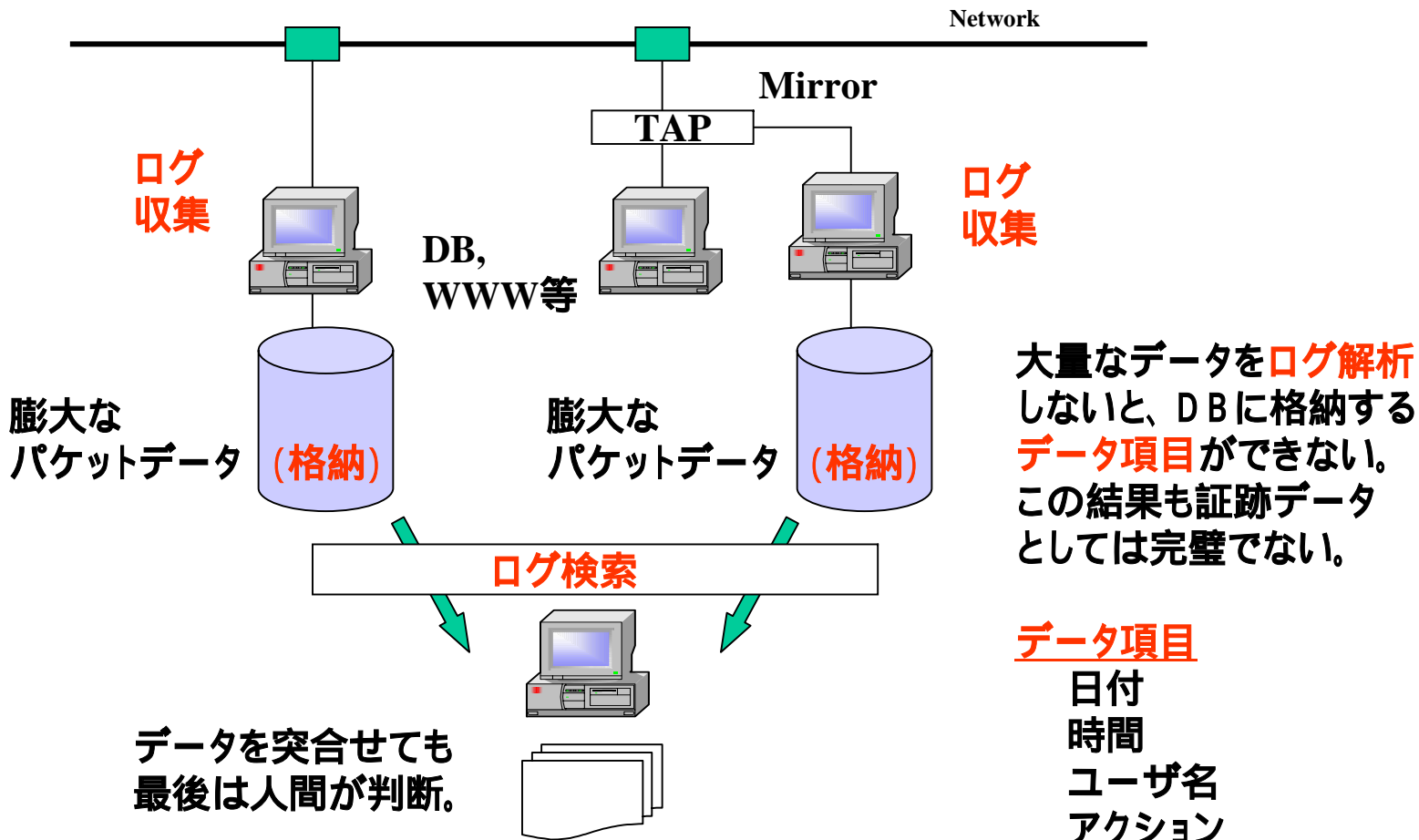
- 金融機関：金融商品取引法と預金者保護対策を推進する必要性
- 一般企業：内部統制をめぐるコンプライアンス対応とセキュリティ・システムの連携。
- 官公庁等：SMTPを介した重要機密文書の漏洩対策と追跡による安全確保
- ASP事業：SOA展開によるWebサービスの分散ビジネスへのセキュリティ監査

アクセスログ証跡関連ソフト(既存製品群)



source: 内部統制.jp
「継続記録のための専用ツール」

パケット抽出方式の特徴 (従来製品)



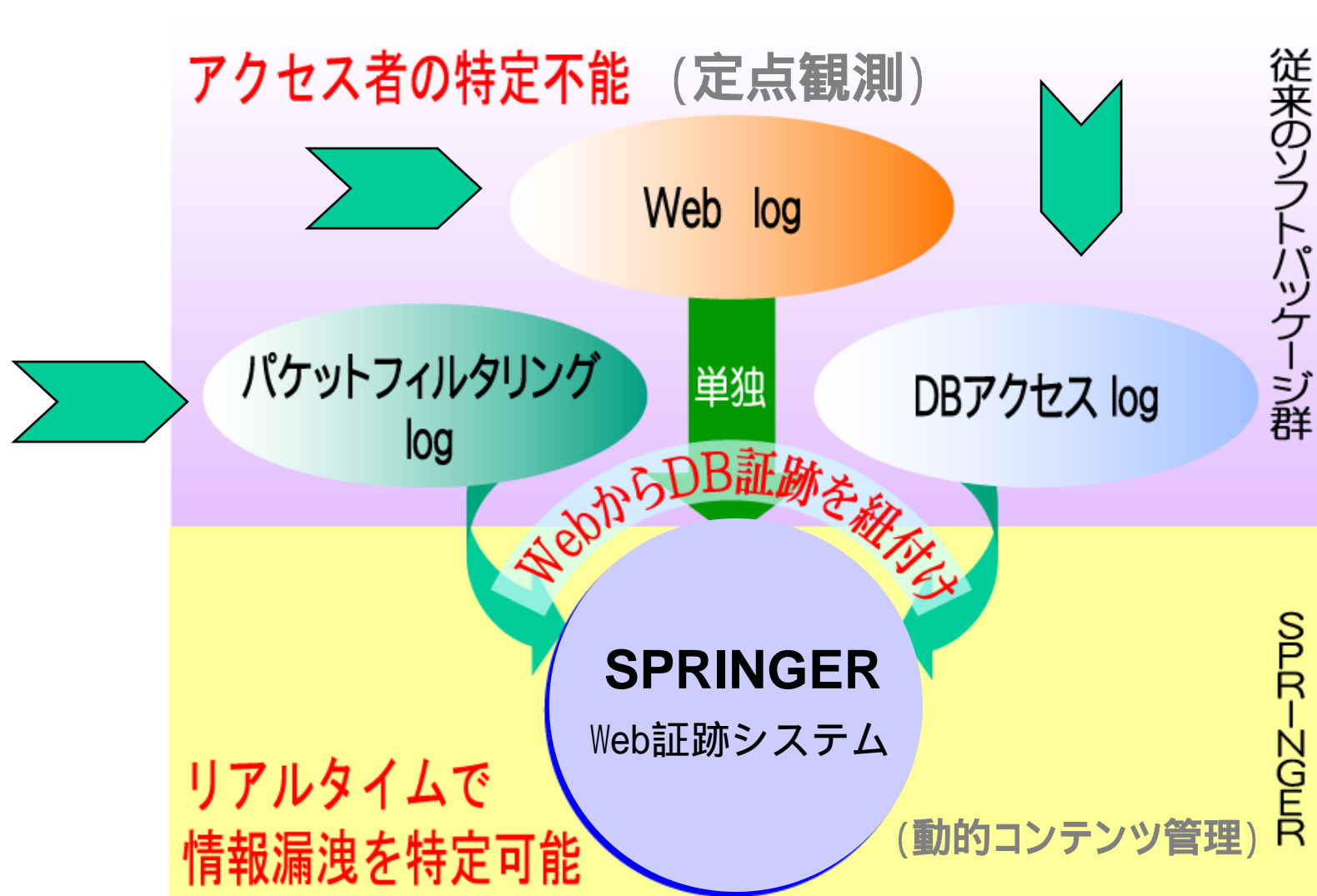
問題点

- ・ 画面証跡とならない
- ・ 画面アクセス証跡の完璧性に問題
- ・ 素早く必要な証跡データを再現できない
大量データのソートしかない。システムが大きいと大変。
- ・ ログそのものが証跡データではない

データ項目

- 日付
- 時間
- ユーザ名
- アクション
(ログイン)
(GETメソッド)等
- ホスト名
- IPアドレス...

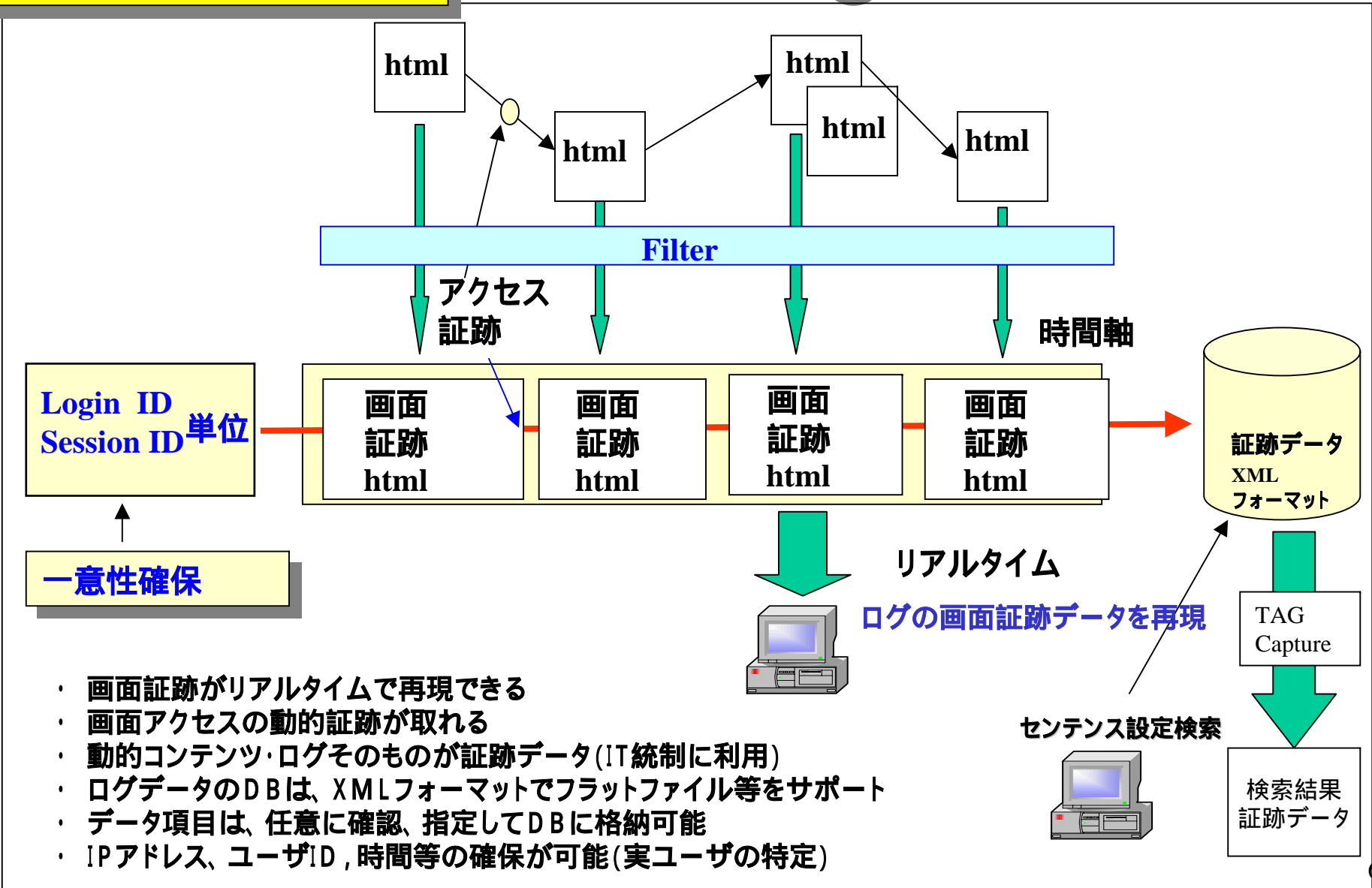
Web系ログ証跡セキュリティ対策ソフトの現状



弊社セキュリティ開発商品の特徴

GLOBALTECHNO

SPRINGER (他製品との違い)



Office 2003提供のExcelで、管理者用レポートを出力

証跡ファイル名 C:\GLOBALTECHNO\Springer30\SPLOGROOT
 ¥2006¥10¥15¥XML¥20061015_127_0_0_1-
 0007.xml
 ファイル作成日時 Sun Oct 15 13:26:13 2006
 出力したサーバホスト名 localhost
 出力したサーバのIPアドレス 127.0.0.1
 HTTPコンテンツ 外部保存
 証跡暗号化記録方式 このライセンスでは未サポート

ログインID + 証跡データの紐付き管理により実現



Login ID	ログイン時間	アクセス時間	URL	サーバ名	コンテンツ	証跡ファイルパス
		20061015-13:27:29	/asp/formtest.asp	192.168.0.77	TEXT/HTML	C:\GLOBALTECHNO¥
		20061015-13:27:34	/asp/formtest.asp	192.168.0.77	TEXT/HTML	C:\GLOBALTECHNO¥
Haruko	20061015-13:27:50		/asp/resultstest.asp	192.168.0.77	TEXT/HTML	C:\GLOBALTECHNO¥
komabayasi	20061015-13:27:56		/asp/resultstest.asp	192.168.0.77	TEXT/HTML	C:\GLOBALTECHNO¥
komabayasi		20061015-13:28:06	/asp/Asp021.asp	192.168.0.77	TEXT/HTML	C:\GLOBALTECHNO¥
お客様		20061015-13:28:06	/asp/Asp021.asp	192.168.0.77	TEXT/HTML	C:\GLOBALTECHNO¥

C:\GLOBALTECHNO¥

C:\GLOBALTECHNO¥



クリック

HTMLでのリスク条項等の閲覧を再現
 HTMLタグの全情報をリアルに再現できます。
 閲覧したPDFファイル(目論見書等)の目視確認が実現できます。
 証跡ログデータは、XMLファイル(CSVも対応)にてDBに格納されます。
 データ項目は、Office 2003 Excel (Office Ver.12)にて出力可能。

*再現画面は、GETされたHTML
 表示になります。イメージは処理して
 いません。

- ビジネスモデル ケース
対象分野： 内部統制支援ソリューション・マーケット
サイバネットシステム社(東証1部)の子会社である、KGT社製 Ci-Tower BPMと連携して日本版SOX法対応のIT統制分野を共同開拓する。
Webサービス化された内部統制ソリューションのIT統制分野において、業務フローの動的な証跡確保にSPRINGERが利用される。

- ビジネスモデル ケース
対象分野： 投信販売商品の内部監査用セキュリティ・ソリューション
某大手ソリューション会社と協業し、金融機関での投資信託商品の窓口販売におけるWebサービス製品のセキュリティー対策として採用。
当局の内部統制向けコンプライアンス対応の為、営業担当者の説明責任を証跡確保する為のフォレンジックツールとして利用される。

- ビジネスモデル ケース
対象分野： 旅行代理店のオンライン販売でのセキュリティ・ソリューション
大手旅行代理店での予約プロセスの追跡調査でSPRINGERが問題解決。
携帯等によるネットオンライン販売で、ホテル・旅館の予約状況のトラブルが多発しているのを、リアルで証跡ログを追跡し解決する。

ビジネスモデル ケース

日本の内部統制をめぐる市場規模について

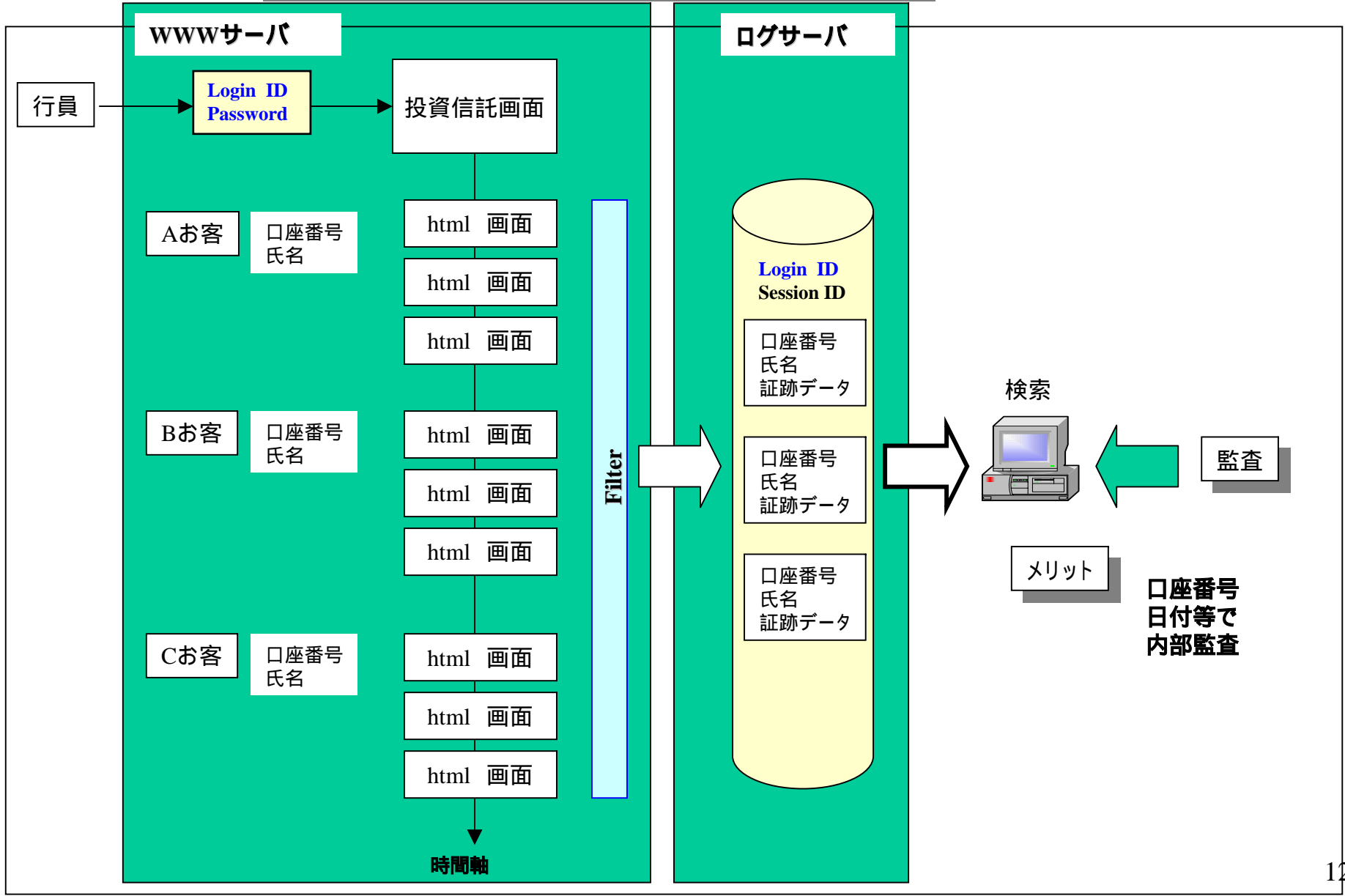
制度対応の要請

金融商品取引法： 2006年6月7日に可決（JSOX法）
導入時期： 2008年4月から始まる事業年度から開始
監査義務： 有り
罰則規定： **経営者の刑事罰（懲役5年、罰金500万円）**
実施基準： 2006年11月21日に、
企業会計審議会、内部統制部会の公開草案が公表される

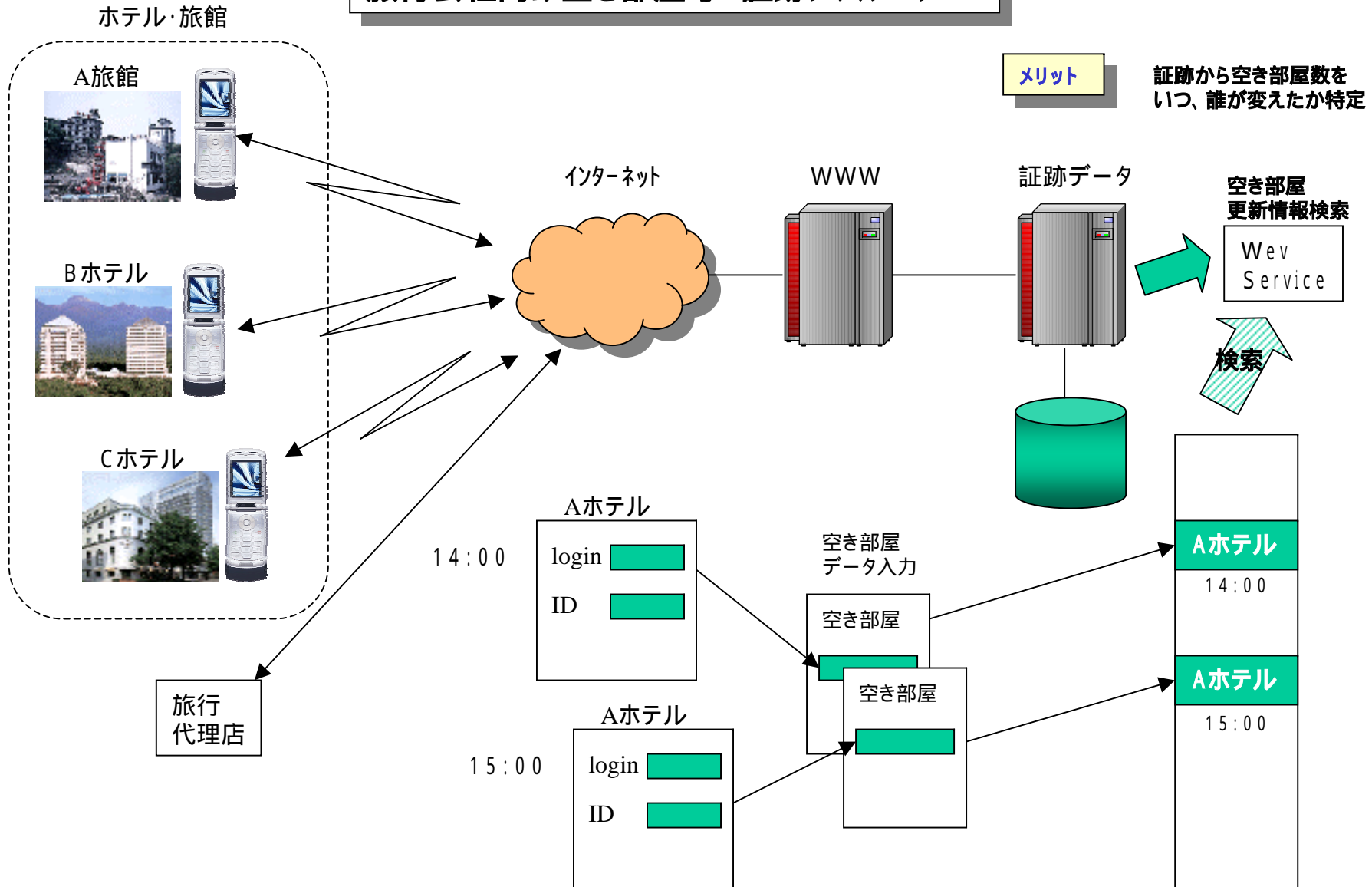
東証： 上場制度総合整備プログラム（2006年6月22日）
財務報告に係る内部統制に関する監査意見において、内部統制に重要な欠陥がある旨記載された場合において、当該重要な欠陥があるその翌々年においてもなお改善されず同様の意見が出された場合などには、**上場廃止**すること等を検討する。

対象企業： **全上場企業 3,700社で、子会社等を含めると50,000社を超える企業が対象となる。**

投資信託の窓口販売における内部監査システム



旅行会社向け空き部屋等 証跡システム



SPRINGER V3.0

特許出願中 特願2007-012417

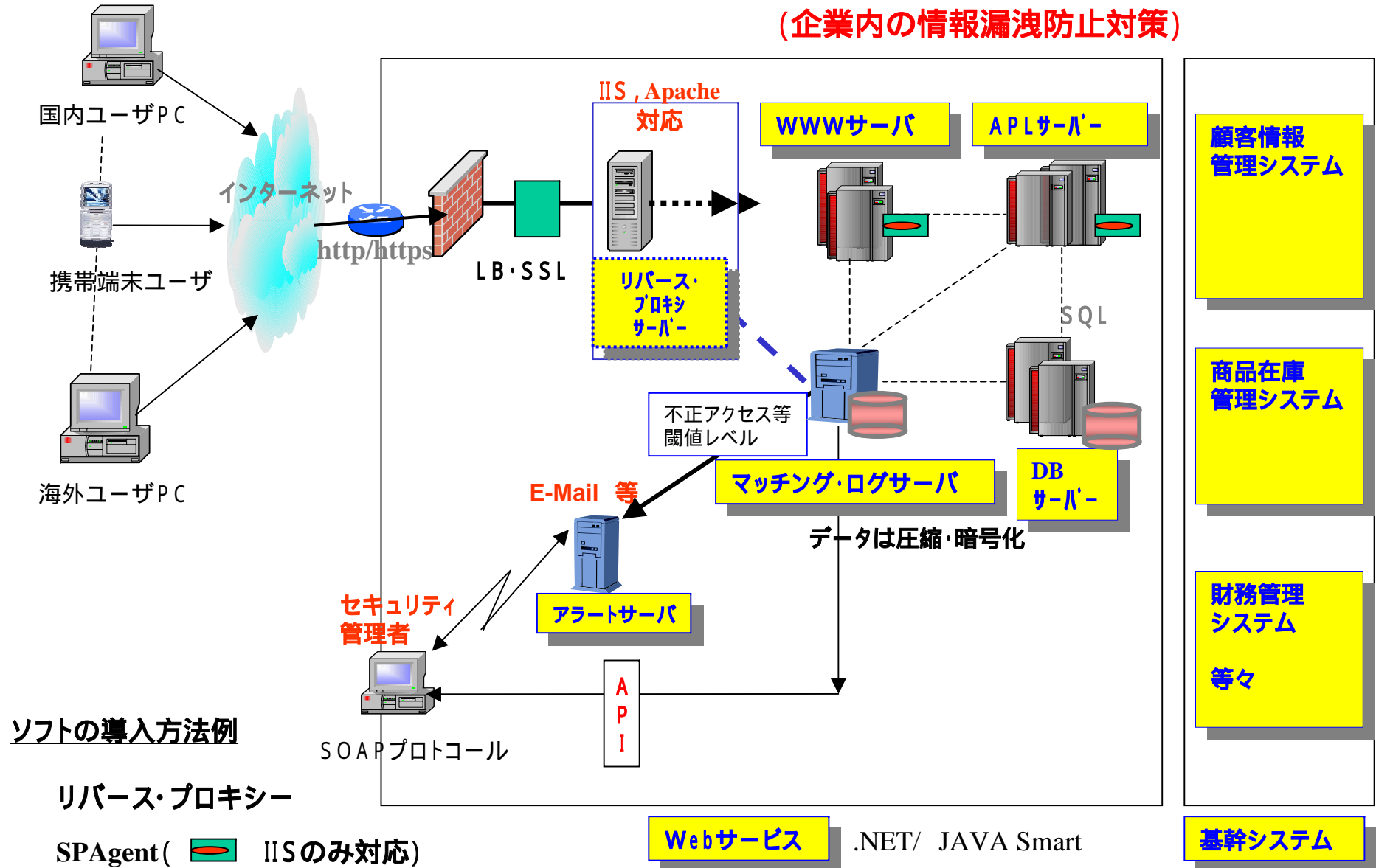
**独立行政法人情報処理推進機構 (IPA) が、
2005年度 Log Management システム開発・
事業化 テーマ項目として認定した
新しいコンセプトのセキュリティソフトです。**

SPRINGER導入の直接効果

Webサービス利用時の、オペレーションの実態把握
サービスレスポンスの実態把握(サービス停止を含む)
アクセス頻度の実態把握
問題発生の実態把握(ミスオペレーションに起因するか否かなど)
情報更新により発生した問題の要因分析支援
ミスオペレーションによる更新情報の復元支援

重要な顧客情報等を扱う全ての企業内システムを対象としたフォレンジック・ツール

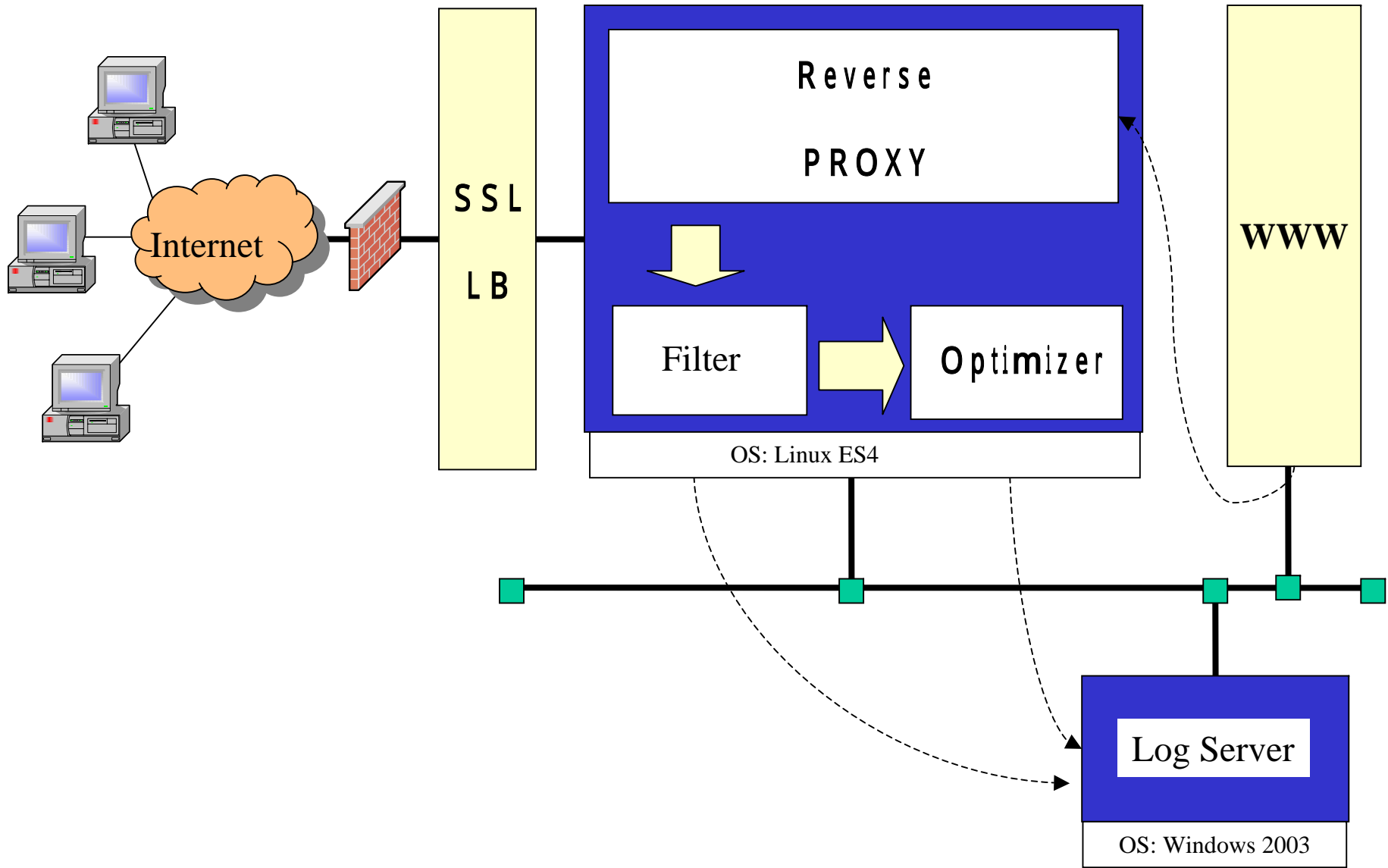
(企業内の情報漏洩防止対策)



ソフトの導入方法例

リバース・プロキシ

SPAgent( IISのみ対応)



Htmlフィルタリング・テクノロジーとSOA展開

- (第1段階) 2006年11月
WWWサーバ(IIS):
DBアクセス・ログ取得:
マッチングログ・サーバ:
SPRINGER V3 リリース
エージェントソフト・アドオン方式
DBフリー
(SQL Table-スタティック/ダイナミックSQL対応)
XML対応(SOAP)で、SOAを実現
- (第2段階) 2007年4月
Reverse PROXY方式:
DBアクセス・ログ取得:
Tag Capture機能:
SPRINGER V3.5 リリース予定
Windows, LINUX, UNIX (Apache)に対応
API 関数方式の追加
(SQL直下に置いてloginID,SessionID,SQL文記述)
テキスト・ボックス内のTag解析・検索機能
(オプション対応)
- (第3段階) 2007年Q3
APLサーバ:
SMTPフィルター機能:
SPRINGER V4 リリース予定
HookingによるSQLデータ抽出
迷惑メール遮断、
社内からの重要文書漏洩を追跡する機能
(オプション対応)